

授業科目 公衆衛生看護学概論

【担当教員名】 小山 歌子、杉本 洋 他	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○
【概要・一般目標：G10】 地域で生活するあらゆるライフステージ、健康レベルの個人・家族・集団・組織を対象にヘルスプロモーションの理念に基づいて行われている公衆衛生看護活動を理解する。公衆衛生看護活動の担い手である「保健師」に興味をもち、その活動の基本学ぶ。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護活動とは何かを考え、その特徴を理解する。 2. 公衆衛生看護活動の対象を理解する。 3. 公衆衛生看護活動の方法を理解する。 4. 公衆衛生看護活動の基盤となる概念・理論を理解する。 5. 公衆衛生看護の歴史から公衆衛生看護の方法と意義を知る。 6. 海外の公衆衛生看護を知る。 7. 母子保健活動の対象と方法、具体的事例を説明する。 				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	公衆衛生看護学の概要		1～5	講義・DVD
2	公衆衛生看護学の概念		1～3	講義・DVD
3	公衆衛生看護活動の基盤となる概念・理論		4	講義
4	活動方法		3	講義・DVD
5	公衆衛生看護の歴史		5	講義・DVD
6	海外の公衆衛生看護		6	講義
7	小集団活動の理論、保健行動理論		4	講義
8・9	母子保健活動の実際（1）～（2）		1～4、7	講義・DVD
10	活動方法の理論		1～4	講義
11～13	公衆衛生看護活動の活動方法（健康づくり計画の作成）		1～4	グループ演習
14	作成した健康づくり計画の発表		1～4	グループ演習
15	まとめ * 授業内容・順序は変更する場合があります		1～4	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメデカル	2011・4,400円＋税
	公衆衛生看護学	津村節子、上野昌江	中央法規	2012・3,600円＋税
参考書				
その他の資料				
【評価方法】		【履修上の留意点】		
出欠席と演習への取り組み態度 10%		保健師に興味を持って、主体的に学んで下さい。講義で配布や紹介された書籍・資料は必ず読むようにして、積極的な学習態度を身につけましょう。		
筆記試験とレポート 90%				